

2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月13日

上場会社名 株式会社セレス 上場取引所 東
 コード番号 3696 URL <https://ceres-inc.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 都木 聡
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 兼 管理本部長 (氏名) 小林 保裕 (TEL) 03-5797-3347
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	14,581	21.2	1,248	99.0	1,307	101.5	647	201.0
2019年12月期第3四半期	12,033	63.1	627	△33.2	648	—	214	—

（注）包括利益 2020年12月期第3四半期 864百万円（203.7%） 2019年12月期第3四半期 284百万円（—%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	58.44	57.57
2019年12月期第3四半期	19.47	18.98

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	14,825	7,196	44.8
2019年12月期	12,902	6,581	47.3

（参考）自己資本 2020年12月期第3四半期 6,644百万円 2019年12月期 6,099百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	14.00	14.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期（予想）	—	—	—	18.00	18.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日（2020年11月13日）公表いたしました「配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,500	18.1	1,400	59.0	1,400	76.7	700	834.4	63.26

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期3Q	11,543,000株	2019年12月期	11,487,600株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	498,196株	2019年12月期	420,396株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期3Q	11,071,498株	2019年12月期3Q	11,041,973株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2020年1月1日～2020年9月30日）におけるわが国経済は、経済活動の回復に向けた動きはあるものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による国内外の経済活動の停滞や縮小などが引き続き見られ、今後も厳しい状況が続くことが予想されます。一方、携帯電話市場においては、2019年の総出荷台数に占めるスマートフォンの割合が88.8%と継続的に上昇しております（注）。スマートフォン端末の普及に伴い、スマートフォン広告市場についても継続的に拡大しております。

このような環境の中、当社グループは「インターネットマーケティングを通じて豊かな世界を実現する」という企業理念のもと、「自社の運営するメディアの利用価値を最大化する」というミッションを実現することを目指しております。

当第3四半期連結累計期間においては、ポイ活トレンドの好影響により当社グループが運営するポイントサイト「モッピー」でトラフィックや会員数が増加したこと、及び新型コロナウイルス感染症拡大に伴う「巣ごもり消費」の増加により、当社の運営するアフィリエイトプログラム「AD.TRACK」において、美容・アパレル分野のEC、デジタルコンテンツ等に関する広告の取扱いが好調に推移したこと等により売上高が引き続き伸びました。利益面では、売上高の増加に伴う増収効果に加えて、「モッピー」においてコストの見直しを行ったことから利益率が改善いたしました。関係会社においては、連結子会社である株式会社ゆめみにおける人材への先行投資一巡に伴う利益貢献や、関連会社であるビットバンク株式会社の業績が堅調であった一方、非連結子会社の株式評価損や株式会社ゆめみのリモートワーク推奨による一部のオフィス解約に伴う損失を計上しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は14,581,857千円（前年同期比21.2%増）、営業利益は1,248,800千円（同99.0%増）、経常利益は1,307,470千円（同101.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は647,014千円（同201.0%増）となりました。

（注）株式会社MM総研の発表資料によっております。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

モバイルサービス事業

モバイルサービス事業は、日本最大級のポイントサイトである「モッピー」に加え、自社アフィリエイトプログラム「AD.TRACK」やポイントサイト以外の各種コンテンツメディアの運営、及び連結子会社である株式会社ゆめみで構成されております。「モッピー」においては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、大手クライアントの一部に広告出稿抑制や単価下落の動きがありましたが、「モッピー」スマートフォン版アプリのリリース等多様な集客方法により会員数が増加したことに加え、会員の利便性向上を目的としたポイントの獲得手段の増加、各種キャンペーンの実施等、継続的なサイトの改良に取り組んでまいりました。加えて、アフィリエイトプログラムについても自社メディアの媒体力の活用やクライアントの新規開拓等の取り組みにより取扱高の拡大に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間におけるモバイルサービス事業の売上高は14,583,662千円（前年同四半期比22.6%増）、セグメント利益は2,052,448千円（同46.5%増）となりました。

フィナンシャルサービス事業

フィナンシャルサービス事業は、暗号資産関連事業、ファクタリングサービス事業、投資リターンを得ることを目的とした投資育成事業を行っております。ポイントサイトで当社の発行するポイントは現金や電子マネーに交換可能との観点からは一種の暗号資産であると認識しており、現在流通する各種暗号資産やその要素技術であるブロックチェーン技術をいち早く活用することで、新たな事業を生み出すことが可能であると考えております。

このような考えのもと、100%子会社である株式会社マーキュリーへの投資を継続し、暗号資産交換業の登録に向け、着実に準備を進めてまいりました。また、ファクタリングサービス事業としてフリーランス向け資金調達支援フィンテックサービス「nugget（ナゲット）」のサービスを開始しました。さらに投資育成事業においては、社内の経営資源を活用し投資先支援を積極的に行っております。

この結果、当第3四半期連結累計期間におけるフィナンシャルサービス事業の売上高は5,804千円（前年同四半期比96.8%減）、セグメント損失は191,070千円（前年同四半期はセグメント損失234,816千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産の額は、前連結会計年度末に比べ1,923,369千円増加し、14,825,564千円となりました。これは主に売上の増加や借入れなどにより現金及び預金が1,661,961千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における総負債の額は、前連結会計年度末に比べ1,308,525千円増加し、7,629,425千円となりました。これは主にポイントサイトの事業規模拡大に伴いポイント引当金が270,448千円増加したこと、短期借入金が500,000千円増加したこと、及び長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む。）が448,119千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の額は、前連結会計年度末に比べ614,844千円増加し、7,196,138千円となりました。これは主に利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い647,014千円増加した一方、配当金の支払いにより154,940千円減少したこと、その他有価証券評価差額金が143,553千円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の連結業績予想につきましては、2020年2月14日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想から変更しております。

連結業績予想の修正につきましては、2020年10月23日に公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,941,550	5,603,511
受取手形及び売掛金	2,457,218	2,284,013
営業投資有価証券	1,279,434	1,751,209
商品及び製品	4,465	7,398
仕掛品	51,053	69,618
原材料及び貯蔵品	193,479	178,820
その他	414,953	368,990
流動資産合計	8,342,155	10,263,562
固定資産		
有形固定資産	413,661	348,657
無形固定資産		
のれん	1,200,303	1,124,480
その他	146,899	280,508
無形固定資産合計	1,347,203	1,404,989
投資その他の資産		
関係会社株式	722,748	649,809
その他	2,080,511	2,165,869
貸倒引当金	△4,084	△7,323
投資その他の資産合計	2,799,175	2,808,355
固定資産合計	4,560,040	4,562,002
資産合計	12,902,195	14,825,564
負債の部		
流動負債		
買掛金	756,877	597,873
短期借入金	800,000	1,300,000
1年内返済予定の長期借入金	708,709	915,723
未払法人税等	110,726	386,425
ポイント引当金	1,322,749	1,593,197
その他	1,011,797	1,083,065
流動負債合計	4,710,861	5,876,285
固定負債		
社債	425,000	330,000
長期借入金	1,062,610	1,303,715
資産除去債務	70,782	70,803
その他	51,646	48,621
固定負債合計	1,610,039	1,753,140
負債合計	6,320,900	7,629,425

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,825,948	1,848,733
資本剰余金	2,347,403	2,370,188
利益剰余金	1,768,022	2,224,081
自己株式	△7,805	△108,810
株主資本合計	5,933,568	6,334,192
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	166,409	309,963
その他の包括利益累計額合計	166,409	309,963
新株予約権	7,920	4,525
非支配株主持分	473,395	547,457
純資産合計	6,581,294	7,196,138
負債純資産合計	12,902,195	14,825,564

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	12,033,577	14,581,857
売上原価	8,184,719	10,285,725
売上総利益	3,848,857	4,296,132
販売費及び一般管理費	3,221,264	3,047,331
営業利益	627,592	1,248,800
営業外収益		
受取利息	3,435	6,898
受取配当金	-	24,723
持分法による投資利益	49,576	14,960
暗号資産評価益	542	35,070
その他	6,480	10,267
営業外収益合計	60,034	91,921
営業外費用		
支払利息	8,574	9,993
社債発行費	9,955	-
投資事業組合運用損	9,447	10,584
その他	10,806	12,673
営業外費用合計	38,783	33,251
経常利益	648,844	1,307,470
特別利益		
新株予約権戻入益	-	3,315
投資有価証券売却益	1,226	5,277
その他	128	-
特別利益合計	1,355	8,592
特別損失		
減損損失	225,618	54,056
関係会社株式評価損	-	61,928
その他	20,954	12,482
特別損失合計	246,572	128,467
税金等調整前四半期純利益	403,627	1,187,595
法人税、住民税及び事業税	242,480	497,461
法人税等調整額	△59,778	△30,942
法人税等合計	182,701	466,519
四半期純利益	220,926	721,076
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,984	74,061
親会社株主に帰属する四半期純利益	214,941	647,014

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2019年1月1日 至 2019年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2020年1月1日 至 2020年9月30日）
四半期純利益	220,926	721,076
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	63,745	143,553
その他の包括利益合計	63,745	143,553
四半期包括利益	284,672	864,630
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	278,687	790,568
非支配株主に係る四半期包括利益	5,984	74,061

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

当第3四半期連結累計期間（自 2020年1月1日 至 2020年9月30日）

新型コロナウイルス感染症の拡大による当社グループの業績への影響は、現時点においては軽微ではあり、固定資産の減損会計等その前提にて会計上の見積りを行っております。

ただし、今後、新型コロナウイルス感染症の収束時期やその他の状況の変化により、当社グループの財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 2019年1月1日 至 2019年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	モバイル サービス事業	フィナンシャル サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,852,567	181,009	12,033,577	—	12,033,577
セグメント間の内部売上高 又は振替高	43,281	—	43,281	△43,281	—
計	11,895,849	181,009	12,076,858	△43,281	12,033,577
セグメント利益又は損失 (△)	1,400,726	△234,816	1,165,910	△538,317	627,592

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△538,317千円は、セグメント間取引消去△12,984千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△525,332千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「モバイルサービス事業」において、ポイントメディア「お財布.com」を「モッピー」に統合することに伴い、当初想定していた収益獲得及び費用削減が見込めなくなった「お財布.com」に関連するソフトウェア50,648千円、及びのれん174,970千円の減損損失を計上しております。

当第3四半期連結累計期間（自 2020年1月1日 至 2020年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	モバイル サービス事業	フィナンシャル サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,579,132	2,724	14,581,857	—	14,581,857
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,530	3,080	7,610	△7,610	—
計	14,583,662	5,804	14,589,467	△7,610	14,581,857
セグメント利益又は損失 (△)	2,052,448	△191,070	1,861,378	△612,577	1,248,800

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△612,577千円は、セグメント間取引消去△1,359千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△611,218千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「モバイルサービス事業」において、当社の子会社である株式会社ゆめみのオフィスの一部解約により建物附属設備33,981千円、工具、器具及び備品1,499千円の減損損失を計上し、収益性の低下により投資額の回収が見込めなくなったソフトウェア18,575千円の減損損失を計上しております。